水生生物調査　2022年　7月～12月

上瀬谷A地点・畑ビオトープ

月　日　時刻		7月19日(火)13:40			8月20日(土)14:10			9月日(土)			10月日(土)			11月日(土)			12月日(土)		
場所		A	TB		A	TB		A	TB		A	TB		A	TB		A	TB	
気温		27.3	25.8		30.0	25.8													
水温		21.9	23.6		21.9	25.6													
PH		7.0	7.1		6.9	7.1													
1	ヨコエビ	○			○														
2	ミズムシ(ダンゴムシ型)																		
3	ミズムシ(ボート型)																		
4	マツモムシ		○																
5	サホコカゲロウ																		
6	カクツツトビケラ																		
7	ユスリカ																		
8	ガガンボ																		
9	アメンボ	○	○		○	○													
10	プラナリア	○			◎														
11	ミミズ																		
12	イトミミズ																		
13	ミジンコ																		
14	ハイイロゲンゴロウ	○	○																
15	ガムシ	○																	
16	ヤゴ(シオカラ等)		○																
17	カワニナ	○	○		◎														
18	シジミ																		
19	サカマキガイ																		
20	モノアラガイ																		
21	ドジョウ		○																
22	クロメダカ					○													
23	ヘイケボタル																		
24	ヌマエビ	○	○		○	○													
25	ザリガニ		◎			◎													
26	サワガニ																		
27	オタマジャクシ		○																
28	カワモズク																		
29	アオミドロ																		
30	ヒル				○														
31	マメシジミ	○			○														
32	その他																		
備考		A:水田に供給するため大量の水が流され、流速も早い。そのためか、ミズムシのように速い流れに対応できない種は捕集されなかった。田んぼの土盛をしている業者が水路の掃除をやっているとのことだった。T:A地点近くの田んぼからハイイロゲンゴロウ5匹を移入した。上手く育って欲しい。			A:水路の砂利さらいがされ、濁りの無いきれいな水が勢いよく流れている。水路壁の植物も少なく、水生生物も少ない。 TB:7月30日に放流した20匹の「順環田メダカ」の内2匹の生存を確認できた。雌雄1匹ずつだけど、この後繁殖が可能なので期待したい。											